



2026年3月27日

各 位

会 社 名 株式会社環境フレンドリーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 車 陸昭
(コード：3777、東証グロース)
問合せ先 経営企画室 室長 松澤 増満
(TEL. 03-6261-0081)

GX 戦略推進に伴う事業セグメントの見直しに関するお知らせ

当社は、2026年3月26日開催の取締役会において、事業セグメントの見直しについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 見直しの背景および目的

当社グループの事業構造は、再生可能エネルギー事業の拡大、資源循環事業の強化、GX 投資およびデジタル電力利用事業の立ち上げにより、大きく変化しております。

このような事業環境および事業内容の変化を踏まえ、当社グループの事業ポートフォリオおよび GX 戦略をより明確に示すとともに、事業実態に即した管理体制の整備を図ることを目的として、事業セグメントの見直しを行うことといたしました。

2. 事業セグメントの見直しの内容

従来の「リユース事業」「環境事業」「資源エネルギー事業」の3区分を見直し、以下の4つの事業セグメントに再編いたします。

グリーンエネルギー事業（電力インフラ）

グリーンデジタル事業（電力の高付加価値利用）

グリーンリサイクル事業（資源循環）

グリーンファイナンス事業（GX 投資）

なお、従来の環境事業につきましては、子会社であるアイレス株式会社の株式の譲渡に伴い廃止しております。

また、グリーンデジタル事業には、再生可能エネルギー由来の電力を活用したデジタル関連事業として、既に開示しておりますグリーンコイン・マイニング事業を含みます。なお、当該事業は現在立ち上げ段階にあり、現時点において当該セグメントに該当する売上はありません。

3. 見直しの概要

本見直しは、再生可能エネルギーを起点として、電力インフラ・デジタル活用・資源循環・GX 投資を連携させる「GX エコシステム」の構築を意図したものであり、当社グループの成長戦略を事業セグメントとして明確化するものです。

4. 変更時期

2026 年 1 月より適用しております。

5. 今後の開示について

本見直し後の事業セグメントにつきましては、2026 年 12 月期第 1 四半期の決算開示より新セグメント区分に基づき開示を行う予定です。

6. 業績への影響

本件は事業管理区分の見直しであり、当期業績への影響はありません。

以上